

目 次

研究班の構成

・ 総括研究報告書

水道システムにおける生物障害の実態把握とその低減対策に関する研究

秋葉 道宏

・ 分担研究報告書

1．国内の浄水場における近年の生物障害の発生傾向

秋葉 道宏、岸田 直裕、下ヶ橋雅樹

2．水道事業体におけるピコプランクトンの検査法に関する実態調査

秋葉 道宏、藤本 尚志、岸田 直裕、下ヶ橋雅樹

田中 和明、北村 壽朗、荒井 活人、藤瀬 大輝

3．分子生物学的手法によるろ過漏出障害の原因生物の評価

秋葉 道宏、藤本 尚志

4．生物障害を起こさないための浄水処理技術の開発

秋葉 道宏、西村 修

5．水源貯水池における障害生物の発生実態解明

秋葉 道宏、清水和哉

6．生物障害に対応した省エネルギー型水道システムの開発

秋葉 道宏、高梨 啓和、下ヶ橋雅樹

7．水道水中浮遊生物粒子のリアルタイム測定法の基礎および実証研究

秋葉 道宏、岸田 直裕、田中 和明、藤瀬、大輝高橋 威一郎

8．相模川本川における障害生物の繁殖事例

秋葉 道宏、北村 壽朗、渡邊 洋大、岩谷 梓

・ 研究成果の刊行に関する一覧表